

# ■ 社員の成長と会社の成長が相互に促進し合う組織づくりのためのESマネジメント手法

手 法	特 徴
ES組織診断	組織のつながりの強さを測る計50問のアンケート形式による定量的調査です。「組織風土」「個人特性」「リーダーシップ」という3つの視点から、所属する全社員に診断を実施します。分析結果については、「チームの成長ステージ・8段階」にあてはめ傾向と対策を含め報告致します。
ES導入研修	組織開発の第一段階は、「危機意識・問題意識を共有すること」です。ES組織診断の結果に関し、ファシリテーションの手法を使って現状の組織が抱える問題構造を把握していきます。このプロセスを通して、まずはリーダー社員の危機意識・問題意識を高めることができます。
ESクレド作成プログラム ビジョン浸透プログラム	<p>会社側との相談のもと、「変革の定着化」までの方向性を定めます。プロジェクトを発足し、プロジェクトメンバーと共に変革のプロセスを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ESクレド作成4つのステップ</li> <li>● ビジョンの構築</li> <li>● ESクレドの活用</li> </ul>
クレド浸透施策	変革プロセスが進み、「ESクレド」を創った後に、ESクレド推進活動の一環として「アクティブミーティング」の実施を支援します。アクティブミーティングの主旨は、「職場の皆が問題意識をもって改善活動を継続すること」。ESクレドと結び付いたテーマを設定し、職場の皆を巻き込んで”できるところから”活動を進め、半年後・一年後に現れた成果を共有・承認します。
ES向上型人事制度の構築	「トータルリワード」の考え方にに基づき、ESクレドを軸とした人事システムの構築・運用をサポート致します。また、社内ルールの整備等にも取り組み、社内の人事部の機能強化を支援致します。
社内企業家養成プログラム	ここではリーダー自身が社会とのつながりを強め、ESマネジメントが定着した職場でリーダー自身が更なる変革に取り組んでいくために、必要となるES経営に関する考え方・CSRの視点・ファシリテーションスキルを習得していただきます。自ら社内外につながりを増やし「場」をつくることに注力する役割を意識付けします。
ワークショップ	つながりインタビュー、コンフリクトマネジメント、ワールドカフェなどのワークショップを体感していただき、自社内で実施するために必要なスキルやつながりづくりについて習得していただきます。